

平成 26 年度から 27 年度にかけて福島空港公園運営検討委員会を設置し、参画と協働による公園づくりの試行を進めながら、福島空港公園の参画と協働による公園づくりの基本理念、将来像及び推進にむけた取り組みについて次のように決めました。

福島空港公園における参画と協働による公園づくりプラン 公園づくりの基本理念

思いっきりつかえて、かがやく、マイパーク

- ・ルールに基づき自由な発想で、広大な公園を、思いっきりつかう
- ・イベント等の企画・運営、参加を通じて、私たちがかがやく
- ・交流を通じて地域が活性化し、地元がかがやく
- ・魅力的なプログラムで、来園者をもてなす



私たち(地域住民・団体)が、
つかえる公園



私たち(地域住民・団体)が、
かがやく公園



私たち(地域住民・団体)で、
もてなす公園

公園づくりプラン

～参画と協働の公園づくり平成 28 年度の活動計画～

- 福島空港公園運営協議会を設立し、運用のルールを定めます。
- 冒険遊び場、散策道の整備、わくわくプロジェクト等を引き続き開催します。

福島県福島空港事務所

〒963-6304 福島県石川郡 玉川村北須釜はばき田 21 国内線旅客ターミナルビル 2F TEL0247-57-1111

福島空港公園 参画と協働の公園づくり

思いっきりつかえて、 かがやく、マイパーク の実現に向けて

福島県福島空港事務所



福島空港公園では、多様なニーズに応じて魅力的な公園づくりを推進するため、地域住民やNPOの皆さんとともに「参画と協働による公園づくり」を進めています。

福島空港公園で取り組んでいる「参画と協働による公園づくり」とは？

公園づくりに関わる行政・地域団体・企業・人のすべてが、公園の将来像「思いっきりつかえて、かがやく、マイパーク」を共有し、その実現のため、公園をともに作り、ともに育んでいく継続的な取り組みの事です。



参画と協働による公園づくりのニーズ調査を行いました

福島空港公園の未利用地の利活用に関する地域住民やNPO等の団体のニーズをアンケート調査等を行って把握した概要を示します

(1) 地域住民へのアンケート調査

平成27年1月に、須賀川市・玉川村の幼稚園・小学校・中学校経由で保護者にアンケート調査票を2,035票配付し、1,229票（回収率60.4%）の回答をいただきました。

- ・須賀川市・玉川村の子どもを持つ保護者のほとんどが、福島空港公園を利用したことがある
- ・イベントの認知度も高く、機会があれば参加したいと考えている方も多い
- ・住民参画によるパークマネジメントの考え方については、多くの人が評価している
- ・子どもと一緒に遊びたいというニーズが多くあり、サイクリングやプレーパーク活動の実施によりニーズに応えられる可能性が高い

(2) NPO等の団体へのアンケート

平成26年12月に、福島県内の801団体へアンケート票を郵送配布し、96票（回収率11.9%）の回答をいただきました。

- ・約30団体が福島空港公園での活動に関心がある
- ・スポーツ、自然活動、レクリエーション、福祉などの団体でイベント開催の意思がある

(3) ワークショップ

平成26年1月～2月に一般公募によるワークショップを3回開催（12団体のべ32名参加）し、公園でやってみたい活動や将来どんな公園であって欲しいかについて、意見交換をしました。

【公園でやってみたい活動】

- ・スポーツ系のイベント（クロスカントリー、ノルディックウォーキング、自転車、マラソンなど）
- ・自然系のイベント（自然観察会、ツリーハウス作り、どんぐり植樹など）
- ・その他（竹馬でギネスに挑戦、ヨガ、ドッグランなど）

【将来、どんな公園であってほしいか】

- ・交流の場（世界とつながる、人々が集まる、知り合う）
- ・自然とのかかわりの場（人と自然の共生、自然の中で健康づくり）
- ・地域活性の場（少し離れた日常）
- ・成長の場（子どもの成長）
- ・思いっきり楽しめる場

冒険遊び場を開催しました

遊び場づくりワークショップの開催

① 平成27年9月6日(日) 10:00～15:30

当日参加者:14名 場所:21世紀建設館

絵日記を描いて冒険遊び場での遊びを提案。やりたい遊びを現地で確認しながら当日の内容を決定しました。



絵日記で遊びを提案



遊んでみたい場所をマーキング

地域の人と考えた一日冒険遊び場の開催

② 平成27年9月23日(水・祝) 10:00～15:30

当日参加者:約80名 場所:21世紀建設館前広場

ツリーハウス・ターザンロープをつくり、木材クラフト・工作・和紙染め・おにぎりづくりを実施しました。



ツリーハウス



木材工作と木工クラフト（もりの案内人の会）

参加者の声

- ・子どもたちが自然の中で遊ぶ機会が少ないのでとても良い経験ができ、また参加したい。
- ・空港公園には初めて来た。日陰がもう少しあればよい。地産の食べ物など、あれば嬉しい。近くに住んでいるので、できれば今後も参加したい。
- ・“はっちゃけた”遊びが提供できるプレーパークがここにできたら、子どもたちと遠足に来たい。

団体主導によるわくわくプロジェクトを開催しました

①平成27年6月～8月

現地視察や準備会を3回開催

- ・どの場所で、どんなことをやってみたいか、アイデア出し
- ・やってみたいことを活動計画としてとりまとめ
- ・未供用地でイベントを行う際の、エリアの利用申請について調整
- ・未供用地の利用について、必要な整備について話し合い
- ・イベント開催日の調整



わんわん運動会

②平成27年9月～10月 各団体と事務局にて、個別に現地確認・調整を実施

③平成27年11月1日(日)「福島空港公園 わくわくプロジェクト」開催

企画1 わんわん運動会（日本フリスビードッグ協会、一般社団法人ふくしまプロジェクト）

企画2 竹馬遊び&ものづくり（NPO法人竹林再生プロジェクト）

企画3 ノルディックウォーキング体験会（福島県ノルディックウォーキング協会）

企画4 自転車体験会（合同会社 LinkTOHOKU）

企画1、2、4は空港公園で初めての開催、企画3は、今回の道普請で整備した新しい散策路を初めて利用しました。



竹馬遊び&ものづくり

参加者の声

- ・新しい散策路ができて嬉しい、どんどん使っていきたい。歩けば草も生えてこないし、他の団体さんにも使ってほしい。
- ・NW体験会でも毎回コースを変えて気分転換していたが、マンネリ化もあるので、このような新コースはみんな喜ぶと思う。
- ・この道に続き、2号、3号と整備していきたい。



開通式のテープ（枝）カット



散策道の整備を行いました

① 平成27年9月29日(火)・30日(水)

最終ルート選定、草刈り、枝切り、道ならし、斜面の階段づくりを実施しました。

②平成27年10月15日(木)

斜面の階段づくり、「空港こみち1号路」の看板を制作、設置しました。



空港こみち1号路 整備ルート



H27.6.17 Before

H27.9.29 After



H27.9.29 Before

H27.9.30 After



ノルディックウォーキング体験会



自転車体験会

参加者の声

- ・新しいコースはみんなに喜んでもらえた。このコースにも慣れてくると、また別の新しいコースが必要になるかもしれない。
- ・空港公園の可能性を感じた。広く声かけすれば意欲を持った団体は多いと思う。

④平成27年11月16日(月)反省会を開催 イベントのよかった点、改善点を話し合いました。